

相双宮農通信

第9号

令和3年8月

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から10年が経過しましたが相双地域の営農再開は道半ばであります。官民合同チームでは、これからも農業者様の声を伺い、農業者様に寄り添って、営農再開の拡大に向けた様々なご支援を続けてまいります。（支援内容は裏面をご覧ください）

営農再開され、相双地域で頑張られている農業者様や地域の話題を紹介いたします。



希少な夏いちご「雷峰（らいほう）」が美味しく出荷されています！

(有)いいたていちごランドの菅野知幸様は、平成28年から飯舘村で夏秋いちご「雷峰」の栽培を開始されています。いちごでは、11月～5月の冬春の出荷が多い中、酸味と甘みのバランスがとれた「雷峰」は夏秋に出荷され、希少性の高い品種です。その一方、生産管理に手間がかかり、大量生産できない品種です。

菅野様は、美味しい「雷峰」を皆様にお届けするため、一粒一粒に愛情を注ぎ大切に育てられており、**今年も順調に「雷峰」が出荷**されています。

官民合同チームは、さらに多くの方にお届けできるよう販売先開拓のお手伝いをしています。



お父様の幸蔵様（左）とご子息の知幸様（右）



葛尾村に観光ヤギ牧場が誕生しました！

葛尾村の鎌田様は、長年営んできた養豚場を震災により閉鎖され、一時は再開を断念されていました。復興への強い想いを抱き避難指示解除に合わせて帰村。村民有志の協力を得て(株)かつらおファームを設立し、令和3年5月29日には、念願のヤギと触れ合える**観光牧場「かつらおヤギ広場がららどん」をオープン**しました。官民合同チームは、会社設立や牧場オープン準備に向けたお手伝いを続けて参りました。

牧場では、ヤギ乳で作ったヤギジェラートが味わえるほか、8月には乳しぼりや石鹸作りの体験コーナーが開設予定です。皆様、大自然の中のヤギと触れ合ってみてはいかがでしょうか。

※営業情報：開園期間 4月～11月（9:30～16:00）毎週火曜日休園



牧場で味わえるヤギミルクジェラート

素敵な模様のジャック君



詳細はホームページから→

新たに高付加価値産地づくりが始まりました！

営農再開加速化に向けて、**新たに、農産物の生産と流通・加工等が一体となった産地の形成に取り組む「福島県高付加価値産地展開支援事業」が令和3年に創設**されました。

令和3年8月5日には、被災12市町村の市町村、JA、農業法人協会等の関係機関で構成される「高付加価値産地協議会」が設立され、事業実施計画の募集も9月頃から開始される予定です。

（相双機構も産地協議会の事務局として、活動をご支援します）

今後、関係機関・団体が連携して取組を推進して参ります。相双機構にお問合せいただければ、県のご担当にもおつなぎいたします。



産地協議会設立総会の様子

←詳細は福島県ホームページで



福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の個別訪問を実施しています。

個別訪問：営農再開グループ員が農業者様に個別訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、ご要望に応じた支援を無料で行います

農産物販売の悩みに対応します！

「生産拡大したいが販売先がない」「震災後下落した価格を回復させたい」
このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

農業技術の悩みに対応します！

「どの作物を栽培すべきかわからない」
「作物がうまく栽培できない」
このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

制度活用時の悩みに対応します！

「補助金の申請方法がわからない」
「農業法人設立の進め方がわからない」
このようなお悩みには、訪問員がアドバイスを行います。

その他の取組

農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、官民合同チームが各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117

（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp> 公式SNSページはこちら→

